

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

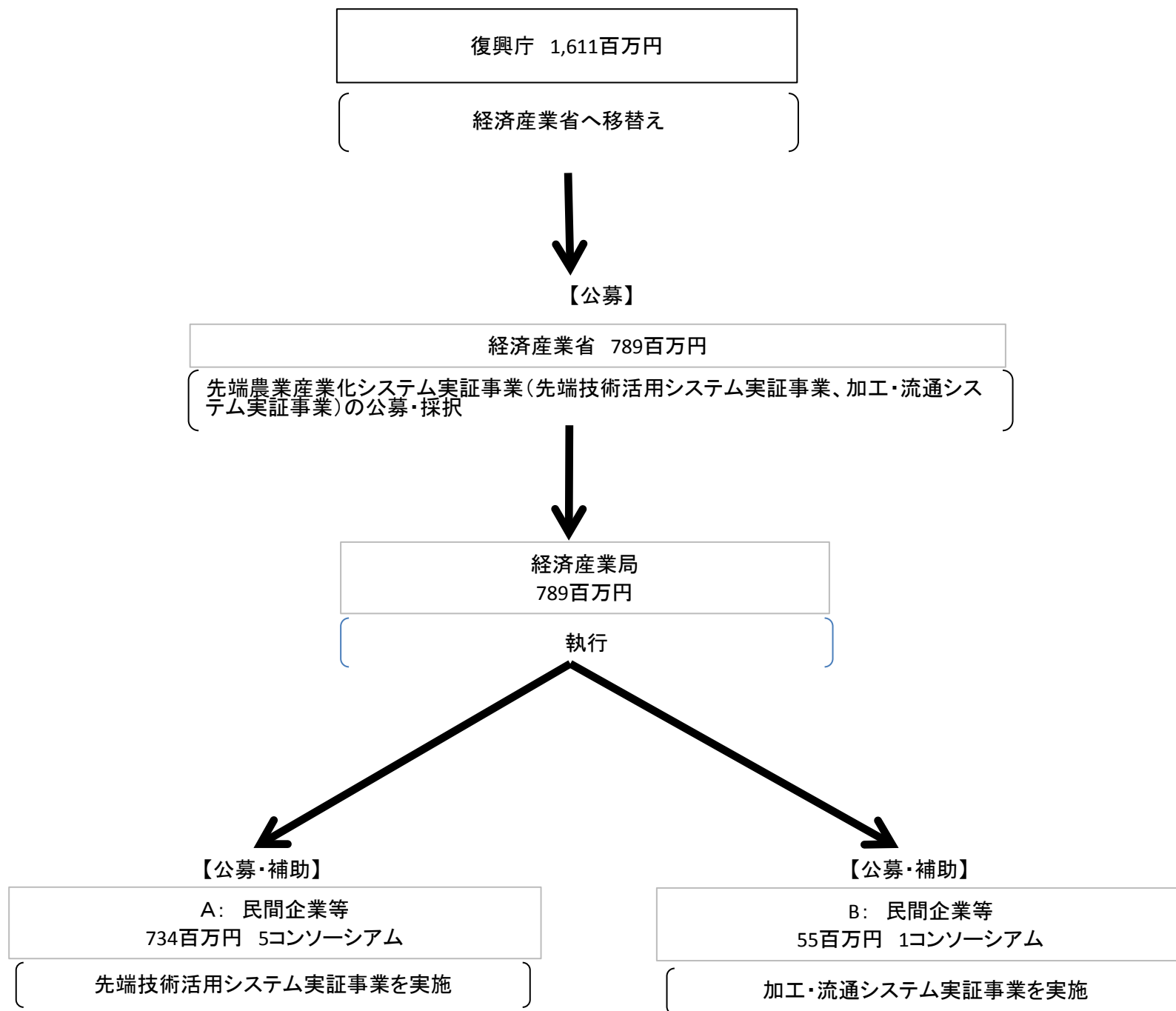
事業名	先端農業産業化システム実証事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成26年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)政策推進指針(平成23年5月17日閣議決定)東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画(平成23年10月25日食と農林漁業の再生推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の被災地域において、民間事業者等(民間企業、民間団体、公益法人、研究機関)が行う先端的な商業・工業の技術やノウハウを用いた農林漁業と連携したシステム等の実証及びビジネス化等に要する経費の一部を国が補助することにより、被災地の復興及び農林漁業の競争力強化を通じた地域経済の活性化を促進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の商工業の先端技術・ノウハウ等を活用し、以下2つの事業を被災地域で実施。(1)先端技術活用システム実証 被災地域において、工業技術や商業ネットワーク等を活用した、被災地域の復興に資する先端的な農業システム(植物工場等)をビジネス化するための実証を実施する事業。(補助率:2/3)(2)加工・流通システム実証事業(平成24年度経済産業省計上の事業では、流通ネットワーク等強化事業として実施。)被災地域において行われる(1)の実証事業による生産物を加工・流通させるため、ネットワークの構築、データベースの整備等により、消費者ニーズを捉えた収益性の高いシステムの実証を実施する事業。(補助率:定額)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	1,611	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	759	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 759	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	852	759	-	
	執行額		-	-	789	-	-	
執行率(%)		-	-	92.6%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	(1)先端技術活用システム実証事業 3年以内に125人の雇用を創出する		成果実績	人	-	-	54	-
			目標値	人	-	-	-	125
			達成度	%	-	-	43	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	(2)加工・流通システム実証事業 先端技術活用システム実証事業の採択件数に相当する数の定常取引を成立させる。		成果実績	件	-	-	6	-
			目標値	件	-	-	9	9
			達成度	%	-	-	67	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	(1)先端技術活用システム実証事業採択事業数		活動実績	件	-	-	9	-
			当初見込み	件	-	-	9	4
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	(2)加工・流通システム実証事業 加工・流通システム実証事業の採択件数		活動実績	件	-	-	1	-
			当初見込み	件	-	-	1	-

単位当たり コスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	予算総額÷採択事業数 (先端技術活用システム実証事業)	単位 当たり コスト	百万円	-	-	147	190
		計算式	/	-	-	734/5	759/4
単位当たり コスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	予算総額÷採択事業数 (加工・流通システム実証事業)	単位 当たり コスト	百万円	-	-	55	-
		計算式	/	-	-	55/1	-
平成 26・27 年度 予算 内訳 (単位：百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	-			
計	-	-					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	先端的農業システムの導入は農業を基幹産業とする被災地域のニーズが高いが、実施に高いリスクが伴い、民間等では実施が困難であるため、国が支援すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	提案公募方式を採用するとともに当該分野の専門家による審査を厳格に実施し、事業化の可能性の高い案件を採択。採択後は定期的に進捗状況の管理・監督を行い、より効率的な実施を図った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業ではコンソーシアムを組織することを要件としており、単独では非効率になってしまう事業を効率的に行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・ 改善結果	点検結果	本事業では、民間では実施が困難である先端的農業システムの実証に対し、提案公募方式により厳格な審査を行い、事業化の可能性が高い案件を採択した。その実施において、コンソーシアムは目的が共有されているため効率的に事業を行うことができ、低コストで実施できた。				
	改善の 方向性	補助事業終了後3年以内に事業化することとなり、引き続き事業者との意見交換等を行いながら事業の進捗を管理し、確実な事業化を目指していく。				
外部有識者の所見						
本事業の被災地域への効果を明らかにする観点から、採択事業のフォローアップ及びその成果の分かりやすい公表について検討すること。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	事業の目的である先端技術を活用した農業システム等の実証を平成26年度中に達成する見込みであるため、平成25年度計上予算をもって復興特会事業は終了することが適当である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	事業の目的である先端技術を活用した農業システム等の実証を平成26年度中に達成する見込みであるため、平成25年度計上予算をもって復興特会事業は終了している。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新25-046

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.富士通ホーム&オフィスサービス(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	栽培設備、出荷設備等	241			
	空調設備、電気設備工事費				
委託費	立上げ・栽培等・販路指導(会津富士加工)	31			
	医学的有用性・臨床実験(福島県立医科大学)				
	医療系販路開拓実証(ヤマトロジスティクス)				
人件費	研究員費及び補助員費	15			
計		287	計		0
B.(有)マイティー千葉重			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外注費	市場調査、農産物流通支援システム構築等	38			
人件費	研究員費及び補助員費	13			
謝金	専門家アドバイス、産地流通アドバイス等	3			
旅費	生産者取材、展示会出展	2			
計		56	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通ホーム&オフィスサービス(株)	先進的な低カリウム技術による大規模スマート植物工場ビジネスの実証	287	-	-
2	(株)テック	先端技術型スマートアグリで増益貢献モデルを実現する太陽光利用型植物工場システムの実証	184	-	-
3	パナソニック(株)	先進インキュベーションシステム活用による合理的高機能性植物の育成・販売実証事業	165	-	-
4	(株)新地アグリグリーン	サンゴ砂礫農法を用いた高糖度トマトの多収量化による収益向上とブランド構築の取組み	68	-	-
5	(株)アイ・エム・ティー (株)かねいし商店	水産加工品を活用した農業システム実証	30	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)マイティー千葉重	被災地域における生産・加工・流通・販売促進プラットフォームの構築と農林漁業の競争力強化	55	-	-